

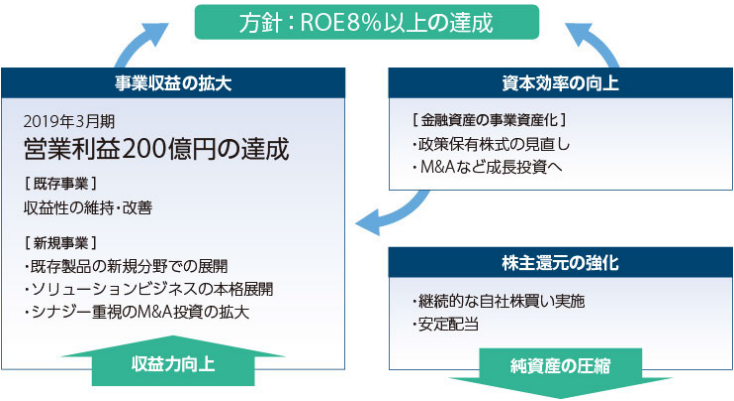
戦略

目標達成へ向けた施策

- 既存事業における収益性の維持・改善
 - 光学装置事業における構造改革 第2ステージへ
 - 光源、装置事業のコスト競争力強化
- 新たな成長機会の追求
 - 既存製品の新規分野での展開
 - ソリューションビジネスの本格展開
 - 映像分野におけるソリューション型ビジネスモデルの確立
 - 他事業分野へのソリューション展開の拡大
 - シナジー重視のM&A投資の拡大

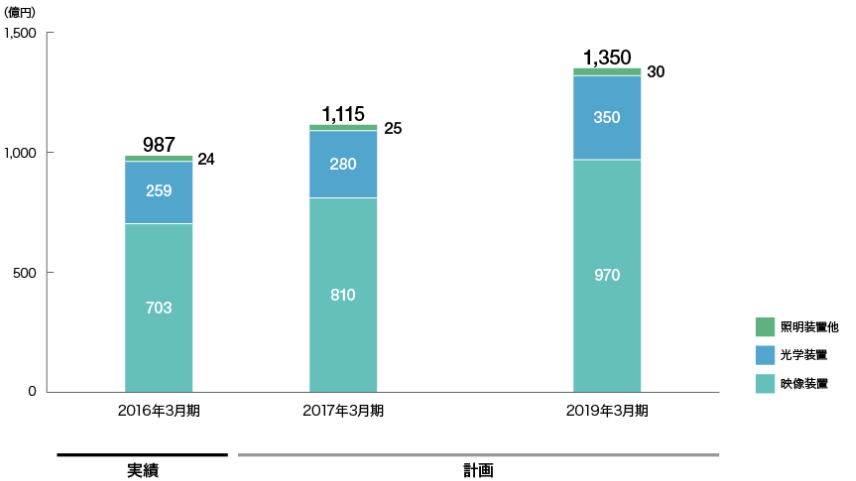
企業価値向上に向けた考え方

事業収益の拡大を着実に進めるとともに、資本効率の向上や株主還元強化によりROE8%の早期達成を目指します。



装置事業

装置事業 中期経営計画



	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (計画)	2019年3月期 (計画)
映像装置	703億円	810億円	970億円
光学装置	259億円	280億円	350億円
照明装置他	24億円	25億円	30億円

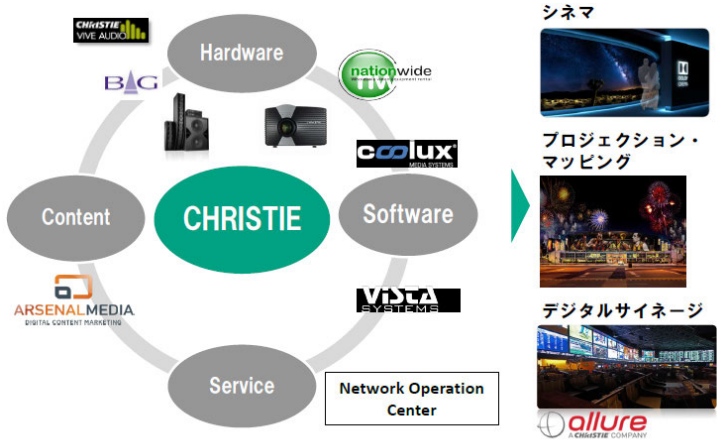
戦略

事業環境と施策

映像装置

分野	事業環境と戦略	施策
シネマ	プラス要因 新興国向け、およびプレミアムシネマスクリーンの拡大継続	トータルソリューションビジネスの拡大 - ソリューション提供型ビジネスモデルの確立 - 安定収入モデルの確立
	プラス要因 ハイエンドシネマの提供拡大 (レーザープロジェクター+オーディオシステムなど)	
一般映像	プラス要因 成長分野であるデジタルサイネージ事業の拡大	

映像画像のトータルソリューション展開



光学装置

分野	事業環境と戦略	施策
UV装置	プラス要因 半導体実装技術の変革	経常的な黒字化を目指した構造改革 グループ戦略の見直し
	プラス要因 車載・インフラ投資、データセンター拡大	
	プラス要因 OLED化による投資機会	
キュア装置	マイナス要因 スマートフォンの成長鈍化	
	プラス要因 中国、液晶投資継続	
	プラス要因 中小型液晶の高精細化ニーズ継続	
	マイナス要因 液晶のOLED化による需要減	

光学事業装置における構造改革

